

第 12 回市民公開講座報告

平成 24 年 2 月 11 日大阪市中心公会堂において、「知って得する！胃がんの話—守ろういのち、守ろう家族—」のタイトルにて、第 12 回市民公開講座が第 84 回胃癌学会総会に引き続いて開催されました。

プログラムは以下のとおりです。

総合司会 橋元佐与子（毎日放送）

第一部 講演

1. なぜ悪い、大阪のがん治療成績

辻仲利政（独立行政法人国立病院機構大阪医療センター がん診療部長）

2. 胃癌の危険因子ヘリコバクター関連胃炎・本邦における胃がん検診の重要性

一之瀬雅夫（和歌山県立医科大学内科学第二講座 教授）

3. 進歩している抗がん剤治療

佐藤太郎（大阪大学大学院医学系研究科消化器癌先進化学療法開発学寄付講座 准教授）

第二部 質問コーナー

回答者：辻仲利政、一之瀬雅夫、佐藤太郎

第三部 Human note とともに育むウタのタネ

参加者は主催者も含めて 250 名でした。第三部では human note およびスマイルリボンズ（大阪医療センター職員とボランティアによる合唱団）の皆さんと会場の参加者が一体となって合唱し、にぎやかなにまた感動的に市民公開講座を終了いたしました。

今回の市民公開講座プログラム決定に際して、医療者だけではなく、マスコミの方、患者会の方および患者支援のための NPO の方々に集まっていただき、市民の皆様に関心をもっていただけるテーマを考え、演者を選考いたしました。また、Human note の方々に協力いただいて、会場の皆様と一緒に患者支援の歌を歌うことを企画いたしました。

もっと多くの参加者を期待していましたが、参加された方々からは分かりやすかった、有意義であった、感動的だったと好評を得ることができました。この場を借りてご協力いただいたすべての皆様に感謝いたします。

多くの方に市民公開講座へ参加していただくことは、大阪のような大都会では非常に困難な現状です。今回できるだけプログラムに工夫を凝らしたおかげで手ごたえは多少ありましたが、一方で今後の在り方を検討する必要があることが示唆されました。

分責 国立病院機構大阪医療センター 辻仲利政